



丹波市内の飲食店 36店舗が参加

丹波大納言小豆 発祥の地・丹波市が、この秋

# 丹波市がこの秋、ぜんざいの町に



フェア開催期間

2016年11月3日(木・祝)～  
2017年1月15日(日)

主催：丹波大納言小豆ブランド戦略会議

丹波大納言小豆発祥の地

## 丹波市がこの秋、ぜんざいの町に

（農振課（春日庁舎内） ☎ 88・5028

### 丹波大納言小豆ぜんざい フェア開催中

市内36店舗の飲食店で、丹波大納言小豆を使用したぜんざいが食べられる「丹波大納言小豆ぜんざいフェア」を開催しています。丹波大納言小豆発祥の地として、その魅力と小豆文化を伝えます。  
おなじみの素朴なぜんざいから、フレンチ風、中華風、蕎麦屋のぜんざいなど、いろいろな味が楽しめます。

れています。このマップを持って、ぜんざいフェアにでかけましょう。マップは、各支所や参加店舗道の駅、観光協会などに設置しています。また、市のホームページにも掲載しています。

- 期間／平成29年1月15日(日)まで
- 申込方法／店舗によっては、予約が必要
- 主催／丹波大納言小豆ブランド戦略会議

### 食べ歩きマップが完成

ぜんざいフェアの食べ歩きマップが完成しました。参加する市内36店舗のぜんざいを写真付きで紹介。特徴や店舗情報なども紹介さ



### 秋の味覚フェアでふるまいぜんざい

ぜんざいフェアに先駆けて、10月29日(土)、30日(日)に丹波の森公苑で開催された「丹の里・丹波市 秋の味覚フェア」で、丹波大納言小豆を使ったぜんざいがふるまわれました。  
ふるまいぜんざいのブースには長い行列ができていました。訪れた家族は、大粒で甘い、丹波大納言小豆が入ったぜんざいを笑顔でほおばっていました。



### ◆丹波大納言小豆メモ

古くは朝廷に献上されていたほど、希少で高価なものとされてきた丹波大納言小豆。江戸時代には、今でいう「ブランド」としての位置を確立していた、丹波地域を代表する特産品です。

小豆の赤色には「邪気払い」の意味があり、昔から厄除けとして、また祝い場で食されてきました。丹波大納言小豆発祥の地、丹波発の縁起もんです。

